

J A熊本うき青壮年部活動報告

J A熊本うき青壮年部は、松橋・下北・小川・下東・宇土・三角・不知火の7支部で構成され、盟友数272名で活動しています。宇城地域管内は、熊本県のほぼ中央に位置しており、中山間地から平坦地、海岸島しょからなる地形の特色を生かし、米や麦、施設園芸、果樹を中心に多種多様な農産物を栽培しています。青壮年部活動については、地域農業の活性化と稼げる農業の実現を目指し、積極的な活動を行っています。

J A熊本うきリーダー研修会



▲熊本県大会へ出場する松橋支部の浦野誠氏

毎年開催している「J A熊本うきリーダー研修会」は、今年で23回を迎え、各支部の代表者たちが、農業における悩みや課題解決に向けた取り組み等を発表しました。

「盟友の主張発表大会」では、松橋支部の浦野誠氏を青壮年部代表として県大会へ送り出します。今後も全国大会出場を目指す盟友の頑張りを応援しています。

フレッシュミズとの交流会

宇城地域の若手農業者の輪を広げ、地域農業を盛り上げようと、女性部フレッシュミズ部会と交流会を行っています。ポウリング大会や懇親会などで交流を深め、今後は、J A役職員と合同での意見交換会開催を計画しています。



▲熱戦のポウリング大会

食農教育活動

子どもたち自ら農作業を体験することで、農作物を育てる難しさや収穫する喜びを感じてもらい、食に感謝するとともに農業の大切さや素晴らしいさを知ってもらおうと、各支部において管内の小学生を対象に田植え・稲刈りなど農業体験学習を行っています。青壮年部盟友が指導し、子どもたちの素朴な疑問にも丁寧に回答しています。



▶子どもたちに「種まき」の説明をする盟友



▶盟友指導のもと稲刈りを終えた子どもたち

青壮年部加入促進「一声」運動

農業後継者が減少する中で、地域農業やJ A運動の将来を担う青壮年部未加入者を対象として、青壮年部の活動を通じて仲間づくりや自らの農業技術、経営に対する情報交換等、地域の若手農業後継者に青壮年部の魅力を周知し、加入促進を図ることを目的に「青壮年部加入促進「一声」運動」を実施しています。宇城地域で加入を希望される方は、J A熊本うき営農指導部までお問い合わせください。